

その他

- 社外からの評価 210
- 参画するイニシアティブ・業界団体 212
- 方針一覧 215
- サステナビリティ情報の編集方針 217

社外からの評価

2024年 2023年 2022年 2021年 2020年 2019年 2018年 2017年
2016年 2015年 2014年 2013年 2012年 2011年

2024年

2024年6月

ESG投資の代表的指標「FTSE4Good Index Series」の構成銘柄に選定

サントリー食品インターナショナル（株）（以下、SBF）は、ESG投資の代表的な指標のひとつである「FTSE4Good Index Series」ならびに「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定されました。FTSE4Good Index seriesは、FTSERussell[※]社（英国）により開発されたインデックスで、環境・社会・ガバナンス（Environment・Social・Governance/ESG）について優れた対応を行っている企業を選定するものです。

※ FTSERussellはロンドン証券取引所が100%出資する企業で、インデックスの構築や管理などを世界規模で展開しています。

2024年4月

環境省「エコ・ファースト企業」に認定

サントリーホールディングス（株）は、環境省の「エコ・ファースト制度」における「エコ・ファースト企業」の認定を受けました。



2024年3月

「健康経営優良法人2024～ホワイト500～」に認定

サントリーホールディングス（株）、サントリー食品インターナショナル（株）などグループ9社[※]は、「健康経営優良法人2024～ホワイト500～」の認定を受けました。

※ サントリー（株）、サントリーウエルネス（株）、サントリーグローバルイノベーションセンター（株）、サントリーシステムテクノロジー（株）、サントリー食品インターナショナル（株）、サントリービジネスシステム（株）、サントリーフーズ（株）、サントリープロダクツ（株）、サントリーホールディングス（株）の9社（五十音順）



2024年2月

「サントリー 天然水の森 赤城」が国有林で初めて「自然共生サイト」に認定

サントリーホールディングス（株）の水源涵養林「サントリー 天然水の森 赤城」は、国有林で初めて※1、環境省が「30by30※2」目標達成に向け推進する「自然共生サイト」に認定されました。

※1 「サントリー 天然水の森」は原則、国や自治体、民間の方々が所有する森林に対し協定を締結のうえ整備活動を行っています

※2 2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標。生物多様性条約第15回締約国会議（CBD-COP15）にて採択された2030年までの新たな世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」に盛り込まれました。



2024年2月

「CDP気候変動」「CDP水セキュリティ」において最高評価の「Aリスト企業」に選定

サントリーホールディングス（株）は、環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPから高い評価を受け、「CDP気候変動2023 Aリスト企業」「CDP水セキュリティ2023 Aリスト企業」に選定されました。



参画するイニシアティブ・業界団体

国連グローバル・コンパクト

サントリーグループは世界人権宣言や国連のビジネスと人権に関する指導原則など国際規範を支持するとともに、国連が提唱する「人権・労働・環境」についての普遍的な原則を提唱する「国連グローバル・コンパクト」に署名しています。



The CEO Water Mandate

サントリーグループは、「国連グローバル・コンパクト」のイニシアチブであり、水の持続可能性に関して企業の発展・実践・情報開示を支援する、水資源問題のグローバルプラットフォームである「The CEO Water Mandate」に署名しています。



The CEO Water Mandate

AWS (ALLIANCE FOR WATER STEWARDSHIP)

サントリーグループは、「水のサステナビリティ」をグローバルにリードする国際機関Alliance for Water Stewardship[※]と日本における水のサステナビリティ推進のリーダーシップ企業として、2021年2月に連携協定を締結しました。また、日本で初めて同機関のメンバーシップ企業となりました。

AWS認証は、世界中の工場を対象とした持続可能な水利用に関する認証で、水の保全やスチュワードシップ（管理する責任）の推進を目的としています。サントリーは、AWS認証を日本企業で唯一取得しています。

※ 現在の機関名で記載。締結当時の名称は「AWSアジア・パシフィック」



SBT イニシアチブ

サントリーグループ環境目標2030において設定しているGHG排出削減目標は、企業が科学的根拠に基づいたGHG削減目標を設定するよう働きかけ、審査・認定を行っているSBT（Science Based Targets）イニシアチブ^{※1}において、「1.5°C目標」の認定を取得しています。また、サントリーグループは、国連グローバル・コンパクト、SBTイニシアチブ、We Mean Business^{※2}が主宰する温暖化による世界の気温上昇を1.5°C以内に抑える目標づくりを呼び掛ける「Business Ambition for 1.5°C」に賛同し、署名しています。

※1 UNGC（国連グローバル・コンパクト）、CDP（気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体）、WRI（世界資源研究所）、WWF（世界自然保護基金）が共同で設立した国際的なイニシアチブ。企業が、科学的根拠に基づいた温室効果ガス削減目標を設定するよう働きかけています

※2 企業や投資家の温暖化対策を推進している国際機関やシンクタンク、NGO等が構成機関となり運営しているプラットフォーム



気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）

サントリーグループは、金融安定理事会（FSB）により設置された「気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD[※]）」提言への賛同を表明しました。

※ The Task Force on Climate-related Financial Disclosuresの略

▶ 詳細は「TCFD提言に基づく開示」をご覧ください



自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD）フォーラム

サントリーグループは、ネイチャーポジティブに貢献する取り組みを加速すべく、2022年4月より「自然関連財務情報開示タスクフォース（以下TNFD※¹）フォーラム」に参画しました。また、2023年12月には「TNFD Adopter※²」に登録しました。



※1 Taskforce on Nature-related Financial Disclosuresの略

※2 TNFD提言に基づく開示を行う意向をTNFDのWebサイトで登録した企業のごとで、登録した企業は2024年もしくは2025年会計年度情報に基づく開示が必要とされる

[▶ 詳細は「TNFD提言に基づく開示」をご覧ください](#)

生物多様性のための30by30アライアンス

サントリーグループは、持続可能な社会の実現に向けて、生物多様性の損失を食い止め回復させることを目指す「生物多様性のための30by30アライアンス」に2022年4月に参画しました。



国立公園オフィシャルパートナーシップ

サントリーグループは、環境省と「国立公園オフィシャルパートナーシップ」を締結しています。“日本の国立公園の魅力の世界に向けて発信し、国内外の利用者の拡大を図る”プログラムであり、この活動を通じて、人々の自然環境の保全への理解を深め、国立公園がある地域の活性化につなげることを目指しています。



SAIプラットフォーム

サントリーグループは、持続可能な農業を目指し2002年に設立された国際的な団体であるSustainable Agriculture Initiativeプラットフォームに2022年7月加盟しました。なお、日本企業として同プラットフォームへの参加は初めてとなります。



クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス（CLOMA）

CLOMAは経済産業省の呼びかけにより設立され、プラスチック代替素材の開発・普及促進や、海外各国への情報発信と技術コンサルティングを通して、各国の状況に応じた効率的なリサイクルシステムの構築を目指す官民連携のアライアンスです。サントリーグループは、CLOMAに設立時点から参画しています。



Global Plastic Action Partnership（GPAP）

サントリーグループは、プラスチックによる環境課題の解決に取り組むグローバルなアライアンス「Global Plastic Action Partnership」に2019年11月に加盟しました。



プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025

サントリーグループは、持続可能な社会の実現に向け、2022年2月に企業がプラスチック諸問題の解決を目指す枠組みである「プラスチック・サーキュラー・チャレンジ 2025」に参画しました。

IARD

サントリーグループは、国際的な適正飲酒推進の取り組みを進める組織「IARD[※]」に参画しています。サントリーグローバルスピリッツとして設立当初から参画し、世界保健機関（WHO）の「アルコールの有害な使用の低減に向けた世界戦略」（2010年採択）に対する酒類業界としての取り組みである「アルコールの有害な使用の低減のための業界コミットメント」の策定にも深く関わってきました。

※ IARD -International Alliance for Responsible Drinking（責任ある飲酒のための国際連盟）は世界の大手酒類メーカー13社が参画するワシントンDCに本部を置く非営利団体

The Valuable 500

サントリーグループは、障がい者の活躍推進に取り組む国際イニシアチブ「The Valuable 500」に加盟しています。

「The Valuable 500」は、2019年1月の世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）にて発足した、障がい者がビジネス、社会、経済にもたらす潜在的な価値を発揮できるような改革をビジネスリーダーが起こすことを目的とした取り組みです。



サントリーが参画している酒類・飲料業界団体の環境関連委員会

全国清涼飲料連合会（環境委員会、自販機委員会等）

➤ URL : <http://www.j-sda.or.jp/>

ビール酒造組合（環境部会、容器環境部会）

➤ URL : <https://www.brewers.or.jp/>

日本洋酒酒造組合（環境問題対策委員会）

➤ URL : <http://www.yoshu.or.jp/>

サントリーが参画しているリサイクル業界団体

公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会

➤ URL : <https://www.jcpra.or.jp/>

活動内容：容器包装の再商品化、普及啓発、情報提供

役職：総務企画委員、ガラスびん事業委員、PETボトル事業委員

公益社団法人 食品容器環境美化協会

➤ URL : <https://www.kankyobika.or.jp/>

活動内容：飲料容器の散乱防止、環境美化

役職：企画委員

ガラスびん3R促進協議会

➤ URL : <http://www.glass-recycle-as.gr.jp/>

活動内容：ガラスびんの3R推進

役職：理事、運営委員

PETボトルリサイクル推進協議会

➤ URL : <https://www.petbottle-rec.gr.jp/>

活動内容：PETボトルのリサイクル推進

役職：理事、総務企画委員、回収・再利用促進委員、広報委員、技術検討委員、運営委員

アルミ缶リサイクル協会

➤ URL : <http://www.alumi-can.or.jp/>

活動内容：アルミ缶のリサイクル推進

役職：理事、企画委員

方針一覧

サントリーグループの方針・規範類をまとめています。方針に基づく取り組みについては、ESGの取り組みの各ページをご覧ください。

▶ サントリーグループ企業理念

▶ サントリーグループ企業倫理綱領

▶ 内部統制システムに関する基本的な考え方

▶ Anti-Bribery Measures

▶ サントリーグループ・グローバル税務方針 

▶ サントリーグループ サステナビリティビジョン

▶ サントリーグループ環境基本方針

▶ サントリーの『水理念』

▶ 「環境ビジョン2050」 / 「環境目標2030」

▶ サントリーグループ「プラスチック基本方針」

サントリーグループ人権方針

▶ サントリーグループ方針（日本語） 

▶ サントリーグループ方針（英語） 

▶ サントリーグループ方針
（簡体中文） 

▶ サントリーグループ方針
（繁体中文） 

▶ サントリーグループ方針
（フランス語） 

▶ サントリーグループ方針
（インドネシア語） 

▶ サントリーグループ方針
（スペイン語） 

▶ サントリーグループ方針
（タイ語） 

▶ サントリーグループ方針
（ベトナム語） 

▶ サントリーグループサステナブル調達基本方針

▶ サントリーグループ・サプライヤーガイドライン

▶ サントリーグループグリーン調達基準

▶ DEI Vision Statement / Strategic Pillars

▶ Employee Value Proposition - 従業員価値提案

▶ Suntory Leadership Spirit

健康経営宣言

お客様志向自主宣言

お客様満足のための基本方針・行動指針

サントリー品質方針

健康方針






適正飲酒のために——サントリーの基本理念・行動指針

サントリーグループ社会貢献活動方針

サントリーグループ情報セキュリティ基本方針

サントリーグループ ソーシャルメディアポリシー

マルチステークホルダー方針

- ▶ サントリーホールディングス株式会社 
 - ▶ サントリー食品インターナショナル株式会社 
 - ▶ サントリープロダクツ株式会社 
 - ▶ サントリーフーズ株式会社 
 - ▶ サントリー株式会社 
-

サステナビリティ情報の編集方針

- ▶ サステナビリティ情報の編集方針
- ▶ GRIスタンダード対照表
- ▶ SASB参照表
- ▶ 世界経済フォーラム WEF ESGメトリクス（Stakeholder Capitalism Metrics）対照表

サントリーグループはWebサイトを通じて、サステナビリティのさまざまな取り組みをお伝えしています。

サントリーグループサステナビリティサイト2024

本サイトは、サントリーグループの「人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、『人間の生命（いのち）の輝き』をめざす」というパーパスのもと、重点的に取り組んでいる活動やサントリーらしい取り組みの情報を網羅的に掲載しています。

サステナビリティ関連データ集やグループ会社独自の取り組み、社会との対話などの情報も充実していますので、目的に応じて閲覧ください。

対象範囲

対象組織

サントリーホールディングス（株）を含む国内・海外グループ会社270社

- ・ 環境データは、サントリーグループ売上高の9割を占める事業会社群が所有する国内生産27工場、海外生産62工場
- ・ 人事データは、データ範囲を個々に記載

対象期間

- ・ 2023年1月1日～2023年12月31日の実績です。活動については直近のものも含めます。

参考にしたガイドライン

- ・ GRI「サステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・ SASB「SASBスタンダード」
- ・ 環境報告ガイドライン（環境省）
- ・ 世界経済フォーラムの共通測定基準

発行

2024年7月